

「道庁・育MEN(イクメン)のススメ」

～道職員活躍事例集(両立支援編③)～

【今回のテーマ】

子ども出生時の休暇取得



北海道総務部人事局人事課

VOL. 10

はじめに

この活躍事例集は、各所属・職員のご協力により、仕事や子育ての実体験や、職員や今後道職員を志す方へのメッセージなどをとりまとめたものです。

第3弾では、両立支援編として積極的に育児に関わる男性職員を掲載していますが、3回目の今回は子どもの出生時に5日以上
の休暇を取得した男性職員を紹介します。

少子化が進む現在、男女が共に仕事と家庭を両立するためには、男性の積極的な育児参加が求められています。職員の皆さんには、今後の参考にしていただきたいと願っています。

また、これから北海道職員を目指す方にも、道職員が仕事と育児に取り組む様子を知っていただき、道職員について、一層の理解を深めていただけると幸いです。

平成28年3月31日
総務部人事局人事課

目次

- 環境生活部環境局エゾシカ対策課
主任 名畑 太智 3

長男3歳、次男1歳

- 総合政策部交通政策局物流港湾室
主任 香取 徹也 6

長女1歳9ヶ月

- 環境生活部環境局環境推進課
主任 南部 稔 8

長男8歳、次男1歳6ヶ月

- 出納局会計管理室審査第一課
主任 徳本 佑太 10

長女6歳、長男4歳、次男1歳10ヶ月

環境生活部環境局エゾシカ
対策課 主任
(長男3歳、次男1歳)



名 畑 太 智

休暇取得日数: 配偶者出産休暇(3日)
育児参加休暇(5日)
(次男出生時)

○ 職務経歴

H20. 4 原子力環境センター監視課
H26. 4 環境生活部環境局エゾシカ対策課

○ 現在の仕事

エゾシカ対策課の有効活用グループで、エゾシカ肉の利用拡大に関する仕事をしています。平成27年度は、道内の小学校、高校や各種団体が主催するイベントなどにお邪魔して、エゾシカのことを知ってもらい、食べてもらう「エゾシカ出前講座」を行いました。ほとんどの子供たちが「エゾシカおいしい！」と食べてくれるので、その瞬間はいつもうれしいです。

他には、「家庭で簡単に作れる」をテーマにしたレシピコンテスト、首都圏におけるジビエ食材としての普及のためのセミナーなども行いました。みなさんはエゾシカ肉を食べたことありますか？きちんと処理されたシカ肉は、臭くも固くもありません！まだ食べたことがない方は挑戦してみてください。大手スーパーさんでも常時販売してますよ！詳しくは「シカの日」で検索してください。



○ 休暇取得の動機、状況

妻からできるだけ休暇を取ってほしいとの希望もあり、私も出産直後の妻を支えてあげたいという思いがありました。

また、長男も2歳でわんぱくでしたので、出産後は病院と一緒に入院もできるのですが、一日中病院の中では、長男も妻もつらいだろうなと思っていました。

職場の上司、先輩は、妊娠の報告時から休暇取得に対して理解を示してくださり、実際に休暇を取得するにあたって、快く了解をいただきました。とてもありがたかったです。

「あんまり休まないほうが…」といった雰囲気でしたら、ここまでの日数のお休みは気持ち的に取れなかったと思います。

先輩は、「え？それしか休み取らないの？せっかくだからもっとがつつり休めば？仕事なら(俺はやらないけど、)主幹がいくらでもやるからさ(笑)」とってくださいました。

本当に恵まれた職場環境でした。



○ 休暇を取得した感想について

出産が日曜日だったので、翌日(月曜日)からの平日5日間と、翌週2日出勤したあとの3日間を休ませていただきました。

落ち着いて出産に立ち会うことができましたし、産後の妻を支えることもできました。

先に書いたとおり、長男は一緒に病院に泊まる予定だったのですが、出産の数日前から風邪を引いてしまい、結局それができなかったのが、私が休暇を取得できる状況で本当に良かったです。

家族にとって、とても良い時間を過ごせました。

○ 家族の反応

しっかり休みを取らせていただいたおかげか、妻の体調も早く回復し、考えていたよりもずっと早く、普段の生活に近い形に戻りました。

「今週は全部休むね」と妻に伝えたときは、すごく安心していました。

ただ、妻としては、もっともっと休んで欲しい気持ちもあったようですが。(その気持ちはもちろん理解できます。)

○ これから育児に関わる男性職員へのアドバイスなど

仕事の状況によっては、休みを取りにくい方もたくさんいらっしゃるかと思いますが、人生の中でもそうそう何度もないビックイベントですので、思い切って休みを取ってはいかがでしょうか。出産する女性は、男性が思っている以上に大変な思いをしているはずですので、それを少しでも支えてあげましょう。(私が十分できたのかはわかりませんが。)

アドバイスとしては、早めに上司にスケジュールなどを含め相談するのが良いかと思います。ただ、私の場合は逆でして、早め早めに「どんな感じで休みとりたい？」と聞いていただけました。

○ その他

私の休暇取得に対して、職場の上司、先輩が理解を示してくださったことが、本当にありがたいことでした。やはり職場の雰囲気というのは休暇取得にあたっては重要だと思います。こういう環境がもっと増えることが大切です。周りの方が出産に臨むときには、私も今回していただいたような対応をしたいです。



総合政策部交通政策局物流港湾室 主任
 (長女 1歳9ヶ月)



休暇取得日数:
 配偶者出産休暇(3日) 育児参加
 休暇(1日) 年次有給休暇(1日)

香 取 徹 也

○ 職務経歴

平成 6年4月 石狩支庁地方部税務課
 平成13年5月 石狩支庁地域政策部地域政策課
 平成14年4月 根室支庁地域政策部北方領土対策室
 平成20年5月 企画振興部総務課
 平成21年4月 総合政策部地域行政局
 平成24年4月 総合政策部政策局土地水対策課
 平成26年4月 総合政策部交通政策局物流港湾室

○ 現在の仕事

現在の業務は、主に次のことを行っています。

- ・ 利尻・礼文や奥尻、焼尻・天売の離島を結ぶフェリー航路の利用促進の取組や住民・航路事業者への補助事業の事務
- ・ 道と苫小牧市が母体となっている苫小牧港管理組合(苫小牧港を管理する一部事務組合)に関する事務
- ・ 市町村が実施する港湾に係る災害復旧事業の国庫負担に関する事務
- ・ 国の基幹統計である港湾調査の取りまとめに関する事務



○ 休暇取得の動機、状況

妻も働いておりますが育児休業を取得したこと、共に実家が近隣でありサポートが得られやすかったこと、また、第1子であり妻の入院期間中の子どもの対応が不要であったことから、私は育児休業を取得せず、職場には出産予定日前後に配偶者出産休暇を取得する可能性があることを相談していました。

実際の取得状況は、配偶者出産休暇を妻の入院日(当日出産)に1日、出産翌日に1日、退院日に1日の合計3日、育児参加休暇を子どもの1ヶ月検診で1日、年次有給休暇を妻の入院期間中(8日間)の夕方に時間給で取得し合わせて1日、合計5日となっています。

出産は緊急的に帝王切開となったため、妻の入院期間が長期となりましたが、職場の理解と協力により年次有給休暇の取得で対応することができました。



○ 休暇を取得した感想について

出産時の状況ですが、妻が早朝に破水したため急遽病院に連れて行き、そのまま入院となりました。その日の午後から職場に出勤しようと思いましたが、上司からの「仕事していても落ち着かないだろう。」と配慮いただき、配偶者出産休暇を取得し妻に付き添いました。

妻は陣痛が始まっていなかったため、私は安心して入院に必要な物を病院の売店で購入し病室に戻ってみると、にわかに慌ただしくなっており、実は胎児の心拍数が低下しており命に関わるため急遽帝王切開が必要とのことで、すぐに配偶者の了承のサインをしてくださいとのことでした。

結果的に休暇を取得し付き添っていたため、すぐにサインすることができ、サインの30分後には手術が始まり、結果手術は母子ともに無事に終わることでできました。

その娘もまもなく2歳を迎えますが、私が病院におらず連絡がすぐに取れない状況であったのなら最悪の事態もあり得たと思うと、職場の配慮により休暇を取得できたことに大いに感謝しています。

○ 家族の反応

妻も出産当日にそのような状況になるとは思っておらず、結果的に私が休暇を取得したことによりすぐに対応できたことは、率直に良かったと思っています。

また、産後はただでさえ憔悴するところに、急な帝王切開の手術でさらに精神的なショックが大きかったようで、私が配偶者出産休暇や年休の時間給により毎日顔を出せたことも良かったようです。

○ これから育児に関わる男性職員へのアドバイスなど

私がそうでしたが、男性は妊娠初期を過ぎ妻の体調も安定してくると、出産のリスクは情報と知っていても、予定日になれば無事に産まれてくるものだと思いがちなのかも知れません。

しかし、母親にとって出産はリスクを伴うものであり、緊急を要する事態が発生する可能性があるものです。

妻の出産を迎える際には、事前に上司や同僚に相談し、職場の状況によりですができるだけ妻のそばに居られる状況を作ることをお勧めします。

また、私は帝王切開だったため出産の立会はできませんでしたが、手術室から出てきた娘を初めて見たときには、言葉では表現できませんが、これまで経験したことがない感覚が生まれました。

皆さんにも是非、配偶者出産休暇取得していただき、その感覚がどのようなものかわわっていたければと思います。

環境生活部環境局環境推進課
主任
(長男 8歳、次男 1歳6ヶ月)



南 部 稔

休暇取得日数: 年次有給休暇(24時間)
夏季休暇(3日)
(次男出生時)

○ 職務経歴

平成15年4月 胆振支庁地域政策部環境生活課
平成21年4月 環境生活部環境局環境保全課(石狩西部広域水道企業団派遣)
平成23年6月 環境生活部環境局循環型社会推進課
平成26年4月 環境生活部環境局環境推進課

○ 現在の仕事

環境政策に係る長期的な目標や施策の基本的な事項などを明らかにする「環境基本計画」の改定や、環境政策全般に係る関係部局との協議・調整などの仕事に携わっています。

○ 休暇取得の動機、状況

私たち夫婦は共働きで実家の支援を受けられる環境にもないため、次男誕生以前から、何でも夫婦二人で対応するのが基本となっていました(主力は妻...ですが)。

次男の出生時には、普段の家事・育児の分担に加えて、妻の入退院対応や各種手続きなどをこなす必要があったため、育児のために休暇を取得しようという積極的な動機というよりは、休暇を取得せざるを得ないという状況でした。

仕事もちょうど最初の山場を迎えたところであり、その必要最低限の休暇を取得することですら躊躇して、時間単位の取得が多くなったというのが現実です。



○ 休暇を取得した感想について

仕事の進捗が思わしくはなかったにも関わらず、休暇取得を認めていただいた当時の上司や同僚の皆様に感謝しています(申し訳なくも思っています)。

一方で、取得した休暇の時間内では、最低限度のことしかできなかったのも、今となっては、もっと色々やれること・やるべきことがあったのではないかと反省しています。

計画的に業務を進めることの重要性を再認識するとともに、どんなにやっても生じえる両立困難な「どうにもならない事態」に対する何らかの準備が必要だと感じています(我が家の場合は「そこはがんばって何とかする...」という感じになってしまっていますが...)

○ 家族の反応

私が休暇を取らなければ、妻が「どうにもならない事態」に直面することになるため、「休暇が取れることになって安堵した」という感じだったようです。



○ これから育児に関わる男性職員へのアドバイス

まず必要なのは育児・家事を「主体的に」やるという意識改革だと思います。

女性は子どもが生まれた瞬間から「主体的に」関わらざるをえませんが、男性はどうしても「妻をサポートする」という意識にとどまりがちです(私も同じです...)

しかし、夫婦の子どもですから、男性にも同じ責任があるはずで、性差により、どうしても役割に差が生じるかもしれません。夫婦の状況によっては、その「差」が大きいものとなるかもしれません。それでも、共通の責任を持って、「手伝う」のではなく「主体的に」育児に関わっていく意識を持つことが、本当の意味での「イクメン」への第一歩かと思います(私もまだ半歩目くらいです...)

○ その他

少子高齢化の進行などを受けて、育児だけではなく介護についても、仕事との両立が課題となっているようです。誰もが「両立」を意識せざるを得ない時代が、すぐそこに迫っているのではないのでしょうか。

私は、現在もちょうちよく育児のための休暇を取得していますが、これができるのは、職場の皆さんのご理解とご協力があったことです。いつかは仕事で恩返ししたいと思っていますし、今皆さんから受けているご支援を、将来支援を必要とする方に還元していきたいと考えています。

こうした協力の輪を広げていくことで、あらゆる職場が多様なライフスタイルを受け入れることを可能とし、次の世代がより働きやすい社会となるよう取り組んでいけたらと思います。

出納局会計管理室審査第一課
主任
(長女6歳、長男4歳、次男1歳10ヶ月)

徳 本 佑 太

休暇取得日数：
配偶者出産休暇(3日)
年次有給休暇(8時間)
育児参加休暇(1日30時間)
子の看護休暇(2日4時間)
(次男出生時)

○ 職務経歴

平成13年5月1日 上川支庁地域政策部振興課
平成14年4月1日 札幌南道税事務所課税課
平成18年4月1日 檜山支庁地域振興部総務課
平成24年4月1日 出納局集中業務室審査課→出納局会計管理室審査第一課

○ 現在の仕事

主に本庁建設部に係る道費支出負担行為の事前合議、支出命令の審査及び財務事務の指導です。各振興局における経理審査係といった感じのものです。この時は、誕生日が5月でしたので、赴任旅費や出納閉鎖も相まって、職場には大層負担をかけたかと思います。

○ 休暇取得の動機、状況

第3子の出生に当たり、必然の状況といったものでした。配偶者出産休暇は概ね産後1週間で退院ですので、諸手続を行い、育児参加休暇は生後1ヶ月は外出を控える必要があり、子供の送迎に使用しました。1日2時間を1ヶ月ほど取得しました。



○ 休暇を取得した感想について

第1子、第2子ともに檜山で出産できなかったことから、妻が里帰り出産して、大した何もできなかったのもので、せめて3人目の時は何かしないとと思っていました。

出生届や保険証の作成は3人目でしたので滞りなかったですが、保育園の送迎で朝送って行って、その中でいろいろやることがあったのが驚きでした。江差の時は送るだけでよかったので。

○ 家族の反応

特段何もなかったですね。むしろ当たり前だろうという感じでした。

それこそ取得していなかったらどうなっていたのかと。

○ これから育児に関わる男性職員へのアドバイスなど

これから初めて父親になる人、2人目が産まれる人等いると思いますが、何かしなしなければいけないとか、ではなく、実際にとってみれば、やることは沢山見えてきます。

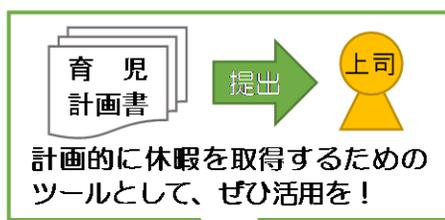
先にも書きましたが、生後一ヶ月は行動が特に制限されるので、できる限り家にいることが大切です。



パパになる
男性職員の
皆さんへ

お子さんが生まれる時には、 5日以上の休暇を取得しましょう!! ～配偶者（妻）のため、お子さんのために～

◎ 道では、「北海道職員の子育て支援行動計画」を定め、すべての男性職員が子どもの出生時に5日以上の休暇を取得することを目指しています。（目標年次：平成36年度）



妊娠

出産予定日の
2ヶ月前まで

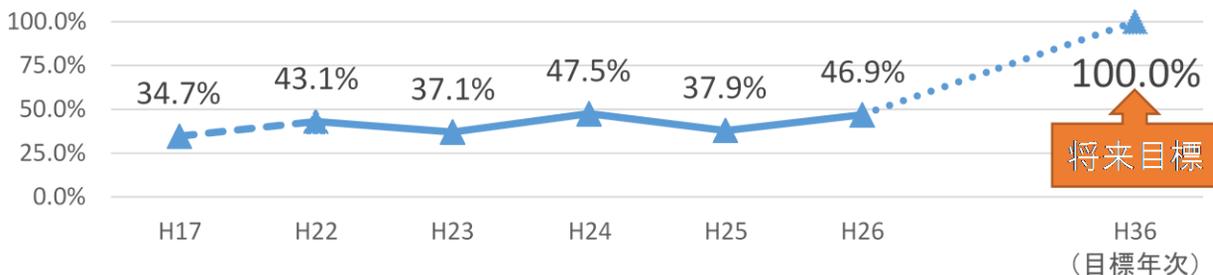
出産予定日
の1ヶ月前

出産

出産の
1ヶ月後

※ 年休のほか、育児休暇、育児参加休暇、夏季休暇など
（冬季職免は休暇ではありませんので、ご注意ください。）

（参考）子どもの出生時における男性職員の5日以上の休暇取得率の推移



職場の皆さんにお願いします

- ✚ 少子化が進む^{いま}現在、女性が働きやすい環境を整え、男女が共に仕事と家庭を両立するためには、男性の積極的な育児参加が求められています。
- ✚ 新しい命を迎える男性職員が、子育てのために休暇等を取得しやすい職場づくりに、ご配慮・ご協力をお願いします。

～職員の子育て支援に関することは、こちらをご覧ください～

★北海道特定事業主行動計画推進サイト（トップページ）

http://melon/branch/010_soumu/jinji/tokutei/

★子育てに関する主な休暇、給付支援制度一覧【H27.4.1 現在】

[http://melon/branch/010_soumu/jinji/tokutei/150/03%20行動計画\(参考 H27\).pdf](http://melon/branch/010_soumu/jinji/tokutei/150/03%20行動計画(参考 H27).pdf)

＜お問い合わせ＞

総務部人事局人事課
サービスグループ

☎011-204-5027(直通)



道職員活躍事例集（両立支援編③）

平成28年3月
北海道

【ご意見などがありましたらこちらまで】

北海道総務部人事局人事課サービスグループ

電話：011-204-5027（直通）

F A X：011-221-6399

電子メール：somu.jinji10@pref.hokkaido.lg.jp